
第 15 報 平成 30 年 3 月 19 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成 30 年 3 月 15 日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

【生コンクリート】

（熊本地区）

熊本地区の2月の出荷量は6万3,367m³と前年同月比14%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。元交通センター等の跡地再開発工事の大型物件や緑川・白川両水系の震災復興護岸工事の本格化もあり、需要は堅調。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万5,500円どころ。熊本地区生コン協組では、アジテーター車のチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人材確保に伴う人件費の増加、骨材の値上げ等をふまえ、平成29年4月以降の契約物件よりm³当たり1,000円の値上げを表明し、需要者と交渉に臨んでいる。しかし、需要者側は値上げに依然として抵抗しており、市況に変動はみられない。先行き、横ばいで推移する見通し。

（阿蘇地区）

阿蘇地区の2月の出荷量は2万2,621m³と前年同月比63%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連工事等が本格化してきたことにより出荷は大幅に増加している。それに伴い、アジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。今後も、国道57号線の復旧関連工事等の大型需要が控えており、さらなる需要増が見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

【再生クラッシュラン】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本市内の中心部では民間の建築工事が中心のため需給は均衡しているが、益城、御船、阿蘇地区等では震災復興道路工事の需要が旺盛で需給はややひっ迫している。

価格は再生クラッシュラン40～0mmが熊本地区でm³当たり2,000円、阿蘇地区でm³当たり3,200円どころを横ばいで推移している。震災復興関連工事に伴う路盤材の需要増に伴い、輸送コストの一段高もみられているものの、メーカー各社は今のところ現行価格の維持に注力している。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばいで推移する見通し。

【アスファルト混合物】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の1月の出荷量は7万8,252tと前年同月比約22%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。熊本市内の需要は中心部においては減少傾向にあるが、益城、御船、阿蘇地区の需要は震災復興道路工事を中心に堅調である。

価格面では、ダンプのチャーター料金が値上がりしており、輸送コストは増加している。また、砂・砕石が値上がりするなど原材料価格が強基調で推移するなか、メーカー側は現行価格の維持に懸命だが、熊本市中心部では、需要者側の購買姿勢は厳しく、指し値要求に応じた物件もみられ、一部価格競合がみられる。先行き、熊本地区は弱含みで推移し、阿蘇地区では横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成30年3月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
		需給	価格見通し						
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [128]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [189]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20~5mm [189]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40~0mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	ややひっ迫	均衡	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [320]	熊本	—	(変動なし)	t	11,200	変わらず	均衡	均衡	弱含み
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1~2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成30年3月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [20]	熊本	年度末を迎え、マンション、商業施設向けの出荷が堅調。価格は、SD295A・D16で前月比変わらず。原料の鉄屑価格の先行きに不透明感がみられるものの、メーカー側の売り腰は依然強い。今後見込まれている需要の増加を背景に、販売側でも高唱えの姿勢を示しているが、先行き、横ばいで推移。	均衡	均衡	横ばい
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は、ラワン・無塗装品で前月比枚当たり20円の上伸。産地側の原木不足による生産および出荷の遅れによる影響で、市中における品薄感が強い。需要面では、熊本市中心部の大規模再開発向けや民間建築への出荷が続いており、しばらくは需要増が続くものとみられる。先行き、強含みで推移。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み
仮設鋼材賃貸料金 鋼矢板・H形鋼 鋼製山留材 ・鋼製覆工板・敷鉄板 [284～290]	熊本	仮設鋼材全般で需給は引き締まった状況が続いている。この先も震災復興関連工事等を含め堅調な需要が見込まれており、需給は当面、同様の展開が続くとみられる。鋼材価格が上昇しているため、賃貸業者は値上げの意向を示しているが、需要者の指値が厳しく、価格は先行き、横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

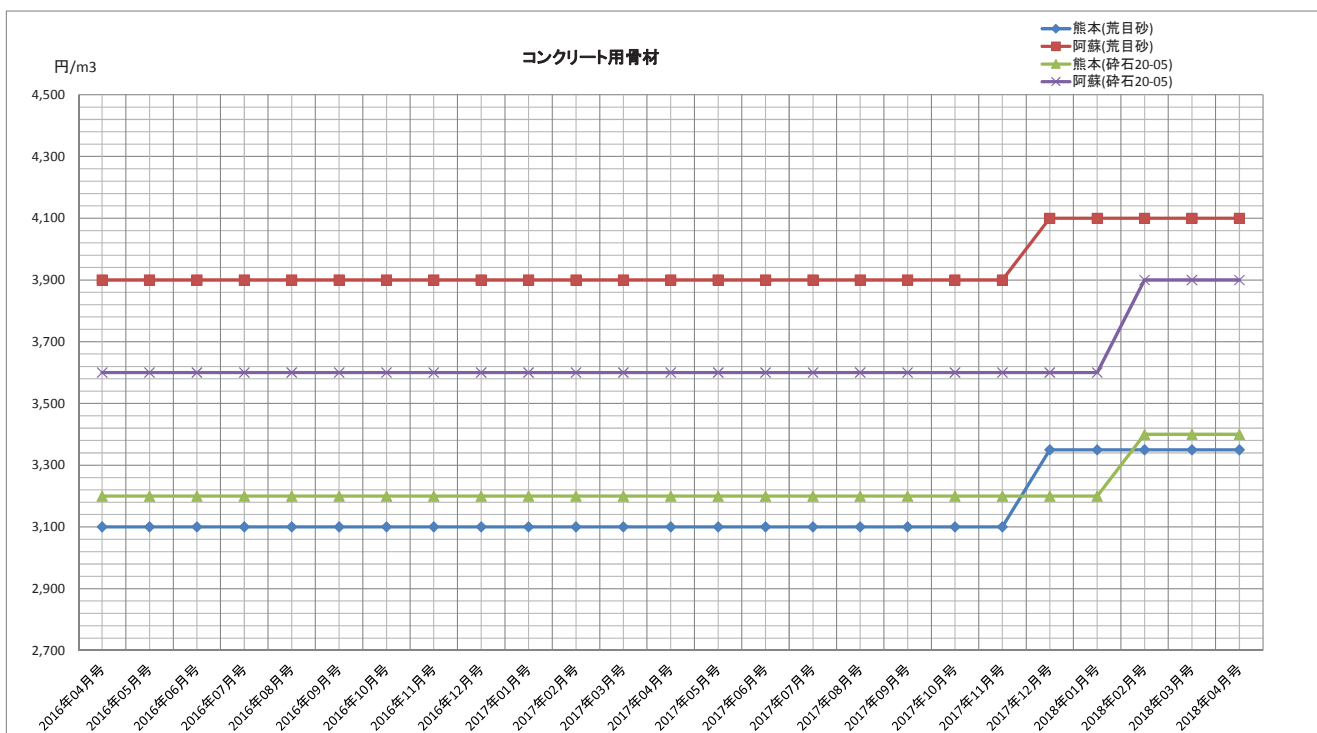
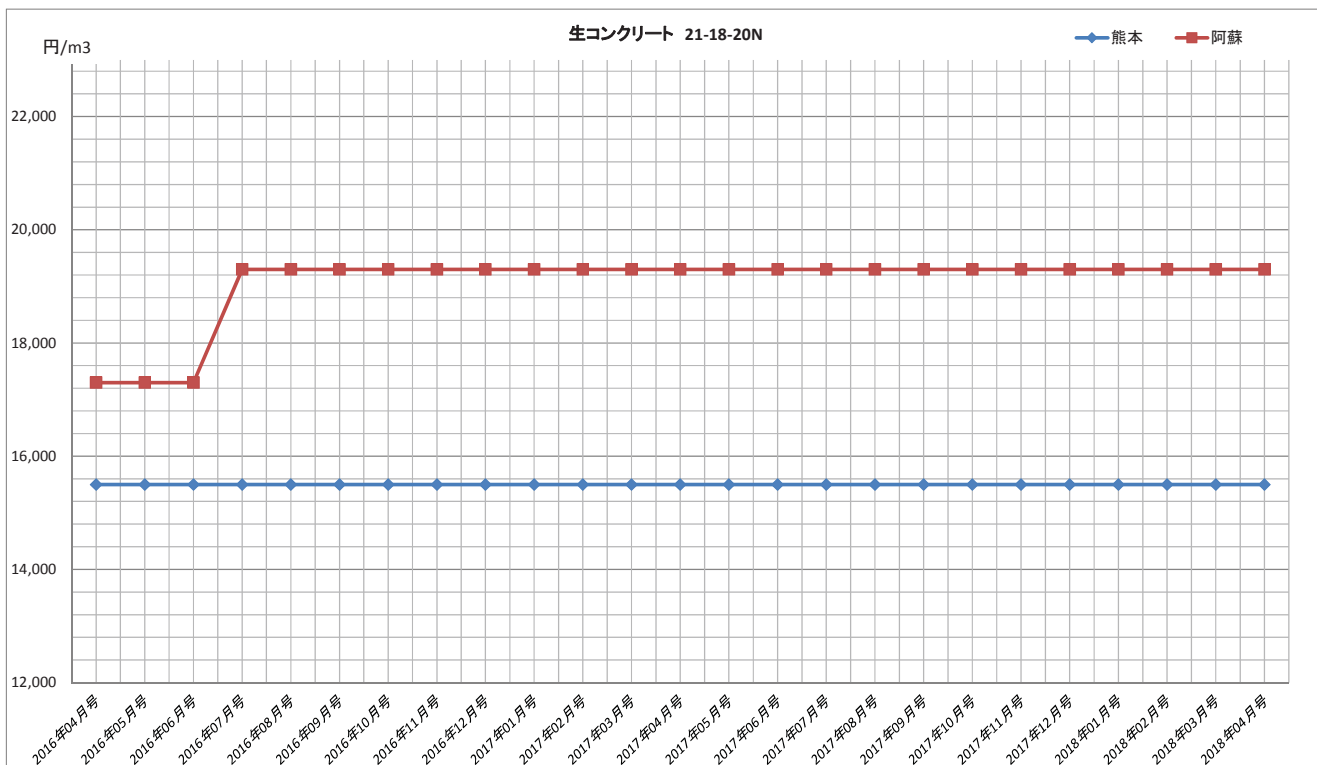
【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

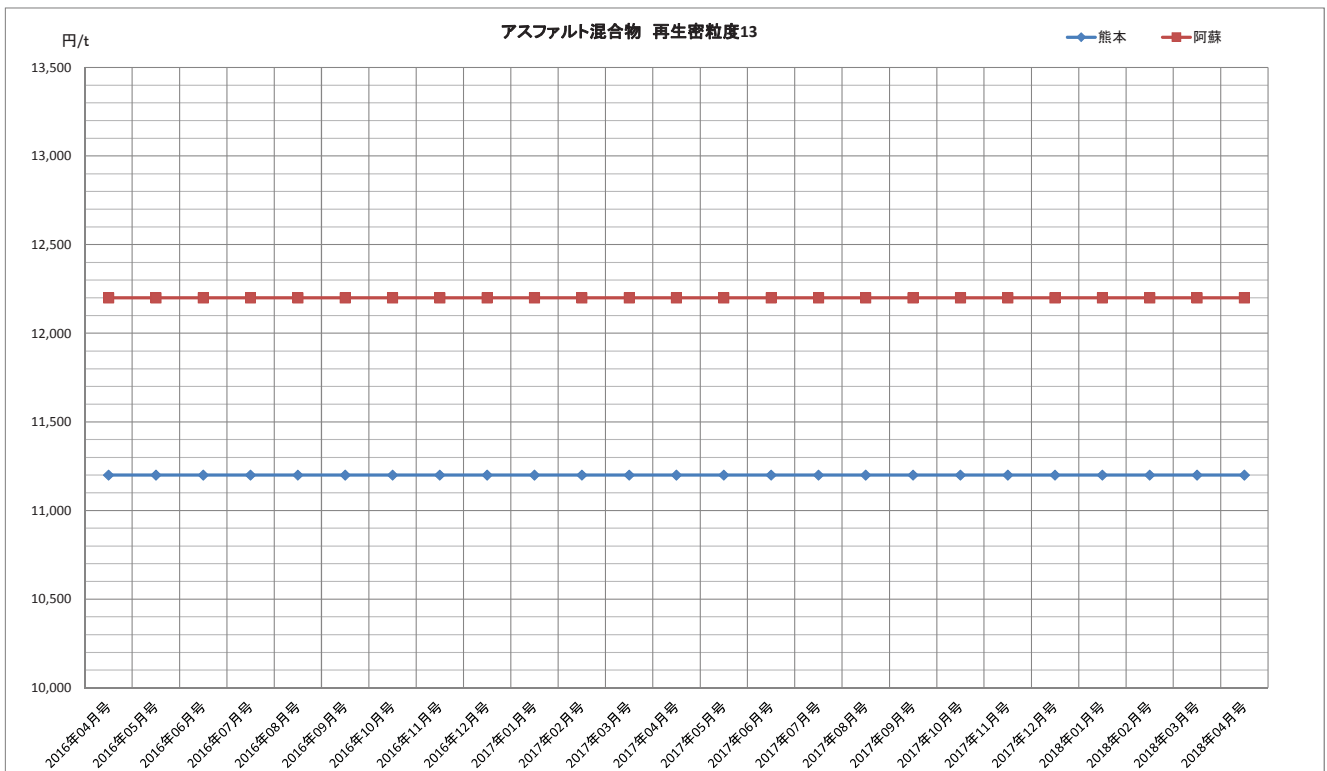
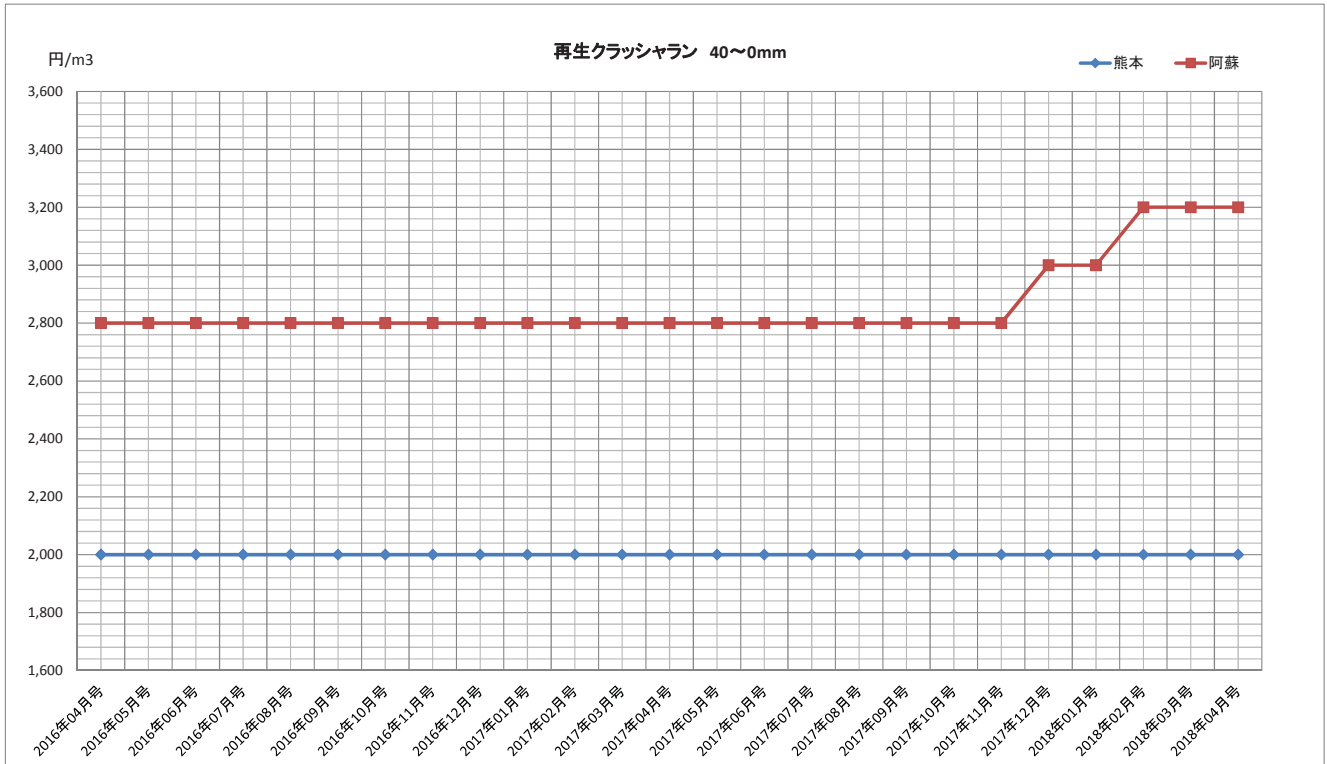
【平成30年3月15日 現在】

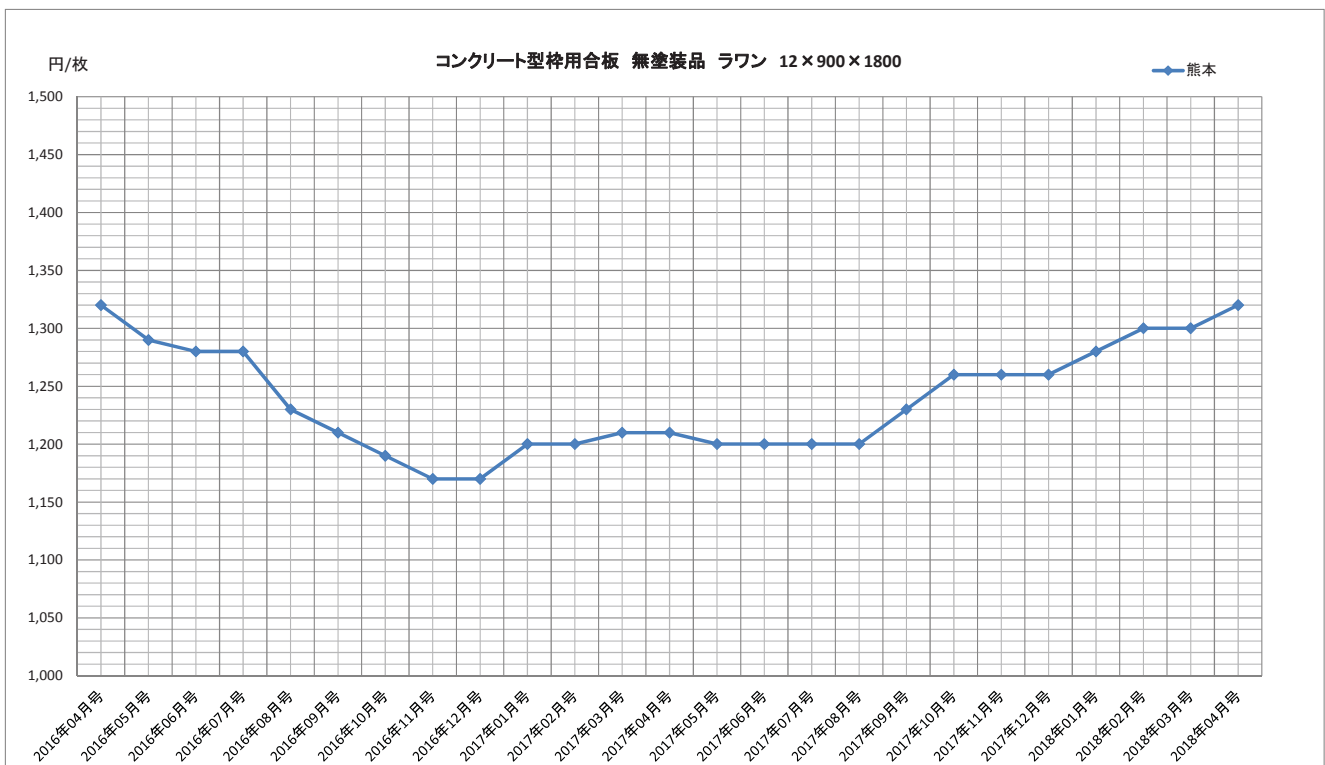
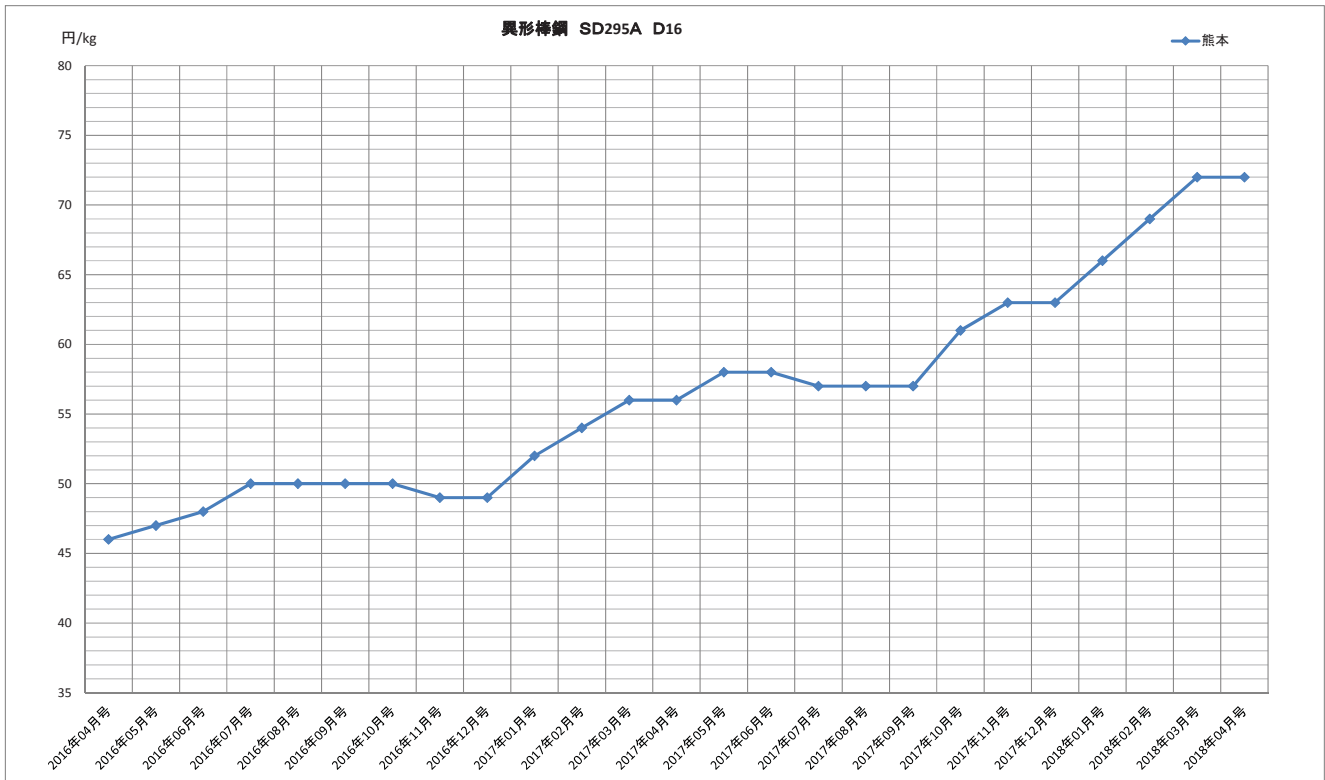
資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
土木工事市場単価 鉄筋工(手間のみ) [土木施工単価3~9]	熊本	市況は一般構造物でt当たり58,000円どころと12月調査時から値動きはみられない。災害復旧関連工事以外にも躯体工の土木工事の発注がされており、鉄筋工の需給はややひっ迫した状態が続いている。そうした中で専門工事業者側は値上げを要請しているが、総合建設業者側の反発は強く、市場には浸透していない。阿蘇大橋等の大型災害復旧工事が本格化する春先以降はひっ迫感が強まりそう。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	ひっ迫	強含み
建築工事市場単価 鉄筋工事(手間のみ) [建築施工単価10~13]	熊本	市内商業施設向けや既存建築物の耐震改修に加え、大規模再開発工事も躯体工事の最盛期を迎えており、専門工の稼働率は依然高水準となっている。労務調達が困難な状況が続く、市況も強基調で推移している。価格は、RCラーメン構造・階高3.5~4.0m程度・形状単純でt当たり54,000円どころと、前回調査比2,000円上伸。需給はなおひっ迫した状態が続く、先行きも強含みで推移する公算が大きい。	ひっ迫	ひっ迫	強含み
建築工事市場単価 型枠工事(材工共) [建築施工単価20~23]	熊本	市街地中心部の大規模再開発工事が本格稼働しているほか、既存の商業施設向けや集合住宅向け等の稼働が重なっており、需給はタイト感が強い。価格は、普通合板型枠・ラーメン構造・地上部階高3.5~4.0mでm2当たり4,800円どころと前回調査比200円上伸。この先、市民病院の再建工事など大型工事の着工も予定されており、需給が緩む兆しはない。先行き、なお強含みで推移する見通し。	ひっ迫	ひっ迫	強含み

【特記】 需給動向は専門工事業者及び総合工事業者に確認し、直近3か月前と比較した結果である。

【主要資材の価格推移】







【工事市場単価の価格推移】

